



白糸ハイランドウェイの概要



峰の茶屋料金所から望む浅間山



沿道自然林の紅葉

項目	データ
路線名称	一般自動車道白糸ハイランドウェイ
事業者名	株式会社白糸ハイランドウェイ
	※ 2011年草軽交通㈱より分社
道路総延長	10.0km
幅員(車線数)	7.0m(2車線)
道路の種別・等級	3種5級 一般自動車道(道路運送法第二条第八項)
路線の種類	アスファルト舗装
主な施設	料金所施設 1か所 駐車場 3か所(2,750㎡) 橋梁 1橋 カルバート 3か所
周辺環境	公衆トイレ(軽井沢町)1か所 売店(草軽交通)1か所 上信越高原国立公園 ロマンチック街道へのアプローチ
沿線の観光施設等	浅間山の山腹に位置する標高1,000mの高原 白糸の滝 竜返しの水 信濃路自然遊歩道 ライジングフィールド軽井沢(旧レクの森キャンプ場) 小瀬温泉 アンシエントホテル浅間軽井沢



2月限定開催だった「氷柱イルミネーション」を、今年度から「白糸の滝真冬のライトアップ」に変更し、12月・2月・3月に開催。より多くの方に冬の幻想的な白糸の滝を楽しんでいただけるようになりました



従業員自らが定期点検を行い、道路を安全に管理。スキルアップのための資格取得やエキスパートによる助言なども活用



3Dスキャナーやドローン計測など、各種点検技術の実証実験も行っています

とで、総合的な評価により事業実施に対する優先度を決定していきます。

大型車両通行増加による道路劣化や今後起こりうる突発的な自然災害に対する管理コストの維持など、今後の課題についても早い段階で対策を検討し、上信越高原国立公園の環境保全や周辺地域の発展、利便性の向上を目指します。

「人とクルマの安全・円滑化」「良好な環境の創出」をテーマに高い技術で30年以上にわたる国土交通省直轄国道の道路維持管理に携わる株式会社ガイアートの子会社として、草軽交通株式会社から分社化する形で2011年に設立された同社。設立当初は、道路の老朽化や利用者の減少など大きな問題が山積していたため、長期間にわたる安定運営とライフコストを最適化するマネジメントサイクルを確立する必要性がありました。その対策として実施したのが、「点検方法の確立と担い手・技術者の育成」「舗装パフォーマンスの見える化と目標管理の情報共有」「舗装の見える

化と更新計画への反映」「危機管理能力の向上」。事業経営の安定・効率化を図るとともに、安心・安全で快適な道路サービスの提供をしています。

また、地域貢献の一環として、軽井沢を代表する観光スポット「白糸の滝」を活かしたイベントも開催。最近ではイベントの評判がSNSなどで拡散され、海外からの旅行者も多く訪れるようになりました。メーカーや大学の実験用に道路を提供するなど、道路施設の維持更新に有効な新しい技術の開発フィールドの活用にも力を入れています。

「大切なのはアセットマネジメント」と語る中川さん。民間有料道路の適切な維持管理を進める上での、まさにヒットの法則です。各種指標を設定し、その達成度を明確にするこ

アセットマネジメントによる 指標化と見える化で計画経営

SMART BIZ

スマートビジネス

ヒットの法則

vol.
82



株式会社 白糸ハイランドウェイ

代表取締役
中川 均氏



旧軽井沢と国道146号を結ぶ
白糸ハイランドウェイ料金所

TEL0267-31-0070
軽井沢町軽井沢東10-24

民間有料道路の課題(白糸ハイランドウェイでは?)

①施設の老朽化開業以来50年を経過している

- ・部分補修(事後保全)では追いつかない
- ・計画的な修繕(予防保全)が必要、だが費用がかさむ

②日本国内の自動車免許取得率や車の保有台数は伸び悩みあるいは減少傾向?

- ・通行台数が年々減少傾向

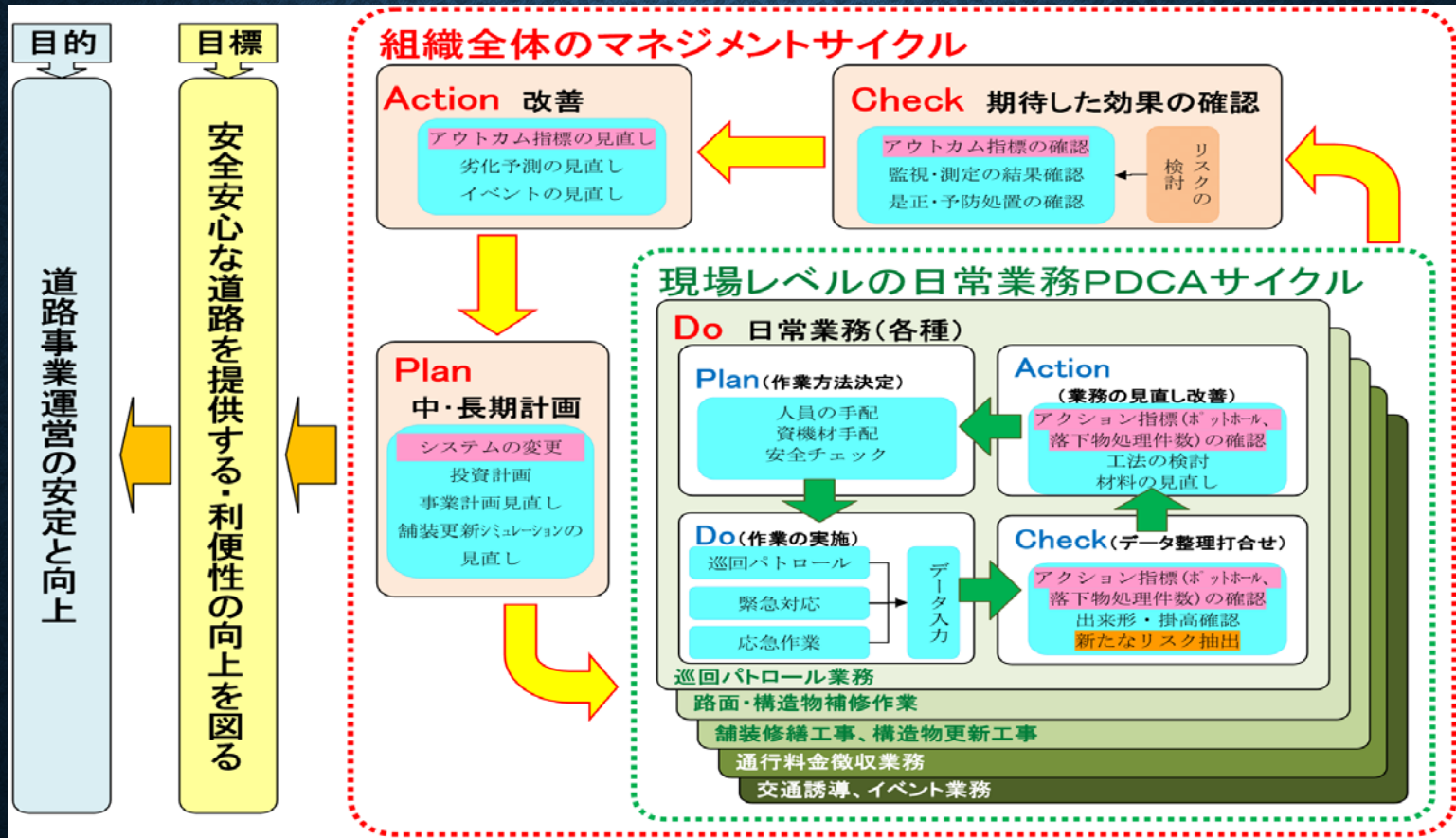
③現場担当者の高齢化

- ・簡単に補充ができない

④一方で確実に外国人旅行者が増えている

- ・大型バスの増加(路面の損傷拡大?)

アセットマネジメントの運用イメージ



- ⇒良好なメンテナンスサイクルを確立して、LCCを最適化する
- PDCAサイクルをまわした継続的改善により、全体最適を図る

ISO導入効果

1・アセットマネジメント上の効果(実現)

- ・長期修繕計画と日々の維持管理業務とが連動して可視化された
(自社の収益見合いで予防保全と事後保全との適正なバランス)
- ・経営と現場業務との一体化、従業員の動機付けに役に立った

2・認証取得による効果(ねらい)

- ・ステークホルダーに対する説明責任を外部認証により担保
- ・料金体系の合理性の証明
- ・経営リスク(事業者管理瑕疵責任)の回避